

健康

癒し

リフレッシュ

スポ協だより

Let's SPORT!

ひたちなか

発行・編集／ひたちなか市スポーツ協会 広報紙編集委員会 (ひたちなか市市民生活部 スポーツ振興課内)
〒312-8501 ひたちなか市東石川2丁目10番1号 ひたちなか市役所 第1分庁舎1階
TEL.029-219-7373 (直通) / 029-273-0111 (内線2113)

<http://www.hitachinaka-taikyo.jp/> ひたちなか市スポーツ協会 検索

令和4年度 スポーツ協会功労者表彰式開催

「ひたちなか市スポーツ協会功労者表彰式」が令和5年1月15日(日)にワークプラザ勝田多目的ホールにて開催されました。

綱川副会長による開式のことばから始まり、大谷明会長、大谷隆市議会議長からご挨拶をいただきました。

今年度は、加盟団体長推薦24名(専門部12名、地域体育部会8名、スポーツ少年団4名)及び全国大会等において優秀な成績を収められた会長推薦6名、計30名の方々を対象とし、賞状・記念品を贈呈しました。

受賞者を代表してひたちなか野球連盟の益子喬様より謝辞をいただき、閉式となりました。



大谷明会長あいさつ

大谷隆市議会議長祝辞



本年度受賞者

◇加盟団体長推薦

- ・野球連盟 益子 喬
 - ・サッカー協会 根本 哲也
 - ・卓球連盟 山田 暁士
 - ・剣道連盟 鈴木 英俊
 - ・弓道連盟 山口 恭弘
 - ・テニス連盟 西野 豊子
 - ・ゴルフ連盟 和田 泰次
 - ・ゲートボール連盟 田嶋 祥行
 - ・太極拳連盟 深澤 弘義
 - ・グラウンドゴルフ協会 武藤 洋蔵
 - ・グラウンドゴルフ協会 吉尾 定雄
 - ・ヘルスパレーボール連盟 磯崎 洋子
 - ・一中地区体育部会 圓谷 貞次
 - ・二中学区体育部会 有馬 博昭
 - ・前渡地区体育部会 栗田 茂樹
 - ・佐野地区体育部会 及川 貴弘
 - ・田彦中学区体育部会 阿部 憲司
 - ・湊中学区体育部会 染谷 哲一
 - ・美乃浜学区体育部会 磯崎 直樹
 - ・阿中学区体育部会 小池 伸秋
 - ・サッカー部会 根本 紀康
 - ・ソフトボール部会 宮野 貴文
 - ・剣道部会 河野 明子
 - ・バレーボール部会 吾妻 泰雄
- ◇会長推薦(褒状)
- 〈全国大会で3位以内・関東大会で1位の個人〉
- ・ダンススポーツ連盟 齊藤 愛心
 - ・ダンススポーツ連盟 打越 心優
 - ・ダンススポーツ連盟 松田 凜空
 - ・ダンススポーツ少年団 加藤 向葵
 - ・ボウリング部会 高橋 望
 - ・ボウリング部会 井崎 寛業



受賞者の皆さん



謝辞益子喬様



表彰を受ける受賞者



第76回三浜駅伝競走大会

令和4年12月4日(日)、ひたちなか市漁村センター前を発着点とし、那珂湊・平磯・大洗の三つの浜を駆け抜ける三浜駅伝競走大会が開催されました。

中学男女、高校男女、一般男女の6部門に分かれており、大会当日は112チーム(計669人)が参加。水戸工業高校Bチームが見事総合優勝を飾りました。



	1位	2位	3位
中学男子の部	つくば市立春日学園	常陸太田市立金砂郷中学校	田彦中A
中学女子の部	水戸市立第四中学校	勝田一中学校A	常陸太田市立金砂郷中学校
高校男子の部	水戸工業高校B	専修大学松戸高等学校A	茨城県立緑岡高等学校
高校女子の部	明秀学園日立高等学校	常磐大学高等学校	茨城県立緑岡高等学校
一般男子の部	福茨千埼	流経大トライアスロン	我流AC-A
一般女子の部	ホープアスリートクラブ	笠松走友会	茨城大学

※申込されたチーム名で記載しています



3年ぶりの開催となりましたが、ひたちなか市・大洗町はもちろんのこと、県内各地や近県からの参加もあり、非常に盛り上がった大会となりました。



この大会はひたちなか市スポーツ協会の協力事業として位置付けられています。

協会加盟団体会員等、総勢135名の関係者が競技役員やボランティアとして携わっており、円滑な大会運営になくてはならない存在となっています。

第70回勝田全国マラソン 3年ぶりに堂々開催 勝田の風、ふたたび

令和5年1月29日(日)、今年で70回目の節目を迎えた勝田全国マラソン。今大会が現役ラストランとなった石澤ゆかり選手(日立)をはじめ、全国各地から集まった約1万2400人のランナーがそれぞれの想いや目標を胸に「勝田の風」になって街を駆け抜けました。

コロナ禍の影響を受けて一昨年はオンライン開催となり、昨年は延期となった本大会。本来の形で開催されるのは3年ぶりとなり、体調管理アプリを使用しての健康状態の確認など時代にあわせた安全対策も用意されました。また、オリジナルTシャツやゼッケン、計測チップ(RSタグ)とあわせて、大会70回記念のマスクも事前に届けられました。スタート前のウォーミングアップ中には、Tシャツとお揃いのデザインのものマスクを着けたランナーの姿も目立ちました。



千葉県から初参加したという夫婦は「勝田はマラソン仲間から評判のいい大会。『完走いも』も楽しみです」と笑顔を見せ、「チップの回収がないというのもラクで嬉しい。記念に持って帰ります」と話してくれました。一方、フィニッシュでボランティアをしていたテニス連盟の方々は、「ランナーの皆さんが楽しみにしていた気持ちを、肌で感じる事ができました」と話してくれました。

スタート前には大谷明市長が「楽しんで、ケガなく戻ってきてください」とエールを贈り、快晴の空のもと鳴らされた号砲を合図に、ランナーが颯爽と駆け出しました。沿道に並んだ大勢の市民やスタッフ、ボランティアが拍手や旗で応援し、ランナーたちが手を振りながら笑顔で応える、健やかな賑わいに満ちた光景が帰ってきました。

専門部だより



3年ぶりの 関東甲信越大会に参加して フアンイーディアカクラブ 会長 根本 敦子

令和4年11月6日に埼玉県所沢市で開催された、関東甲信越ブロックインディアカ大会に参加しました。コロナ禍で開催が見送られ3年ぶりの出場となります。

茨城県からは7種目12チームが参加し、その内ひたちなか連盟登録のチームは「ピンキーハート」「フォーストリーム」「フアンイー」の3チームでした。

私たち女子の部は、予選ブロック6チームの総当たり戦で、上位2チームが決勝トーナメントに進めるのですが、2勝3敗と残念ながら4位で予選敗退となりました。負けはしましたが、一球一球諦めずボールを追い・繋ぎ、満足のいくとも楽しいゲームだったと思います。

又、コート外では、3年ぶりに顔を合わせる県外チームの方々の会話も、楽しいひと時でした。

ピンキーハートとフォーストリームも、決勝トーナメントに進むことはできなかった様です。

朝の検温に始まり、度重なる消毒、色々な規制を設けてやっと開催できた大会です。開催にあたりご尽力くださった皆様に、本当に感謝いたします。

最後に、インディアカだけでは無いですが、コロナ禍で満足な練習ができず、感染のリスクもあり大会があまり開催されず：競技人口がかなり減っていることと思われます。コロナ感染も心配ですが、運動不足による筋力低下や生活の張りを無くすことも心配ですので、レッツ エンジョイインディアカ!!

いろいろな場面で
スポーツを楽しんでいる方々に
スポットライトをあててみました!

スポーツ ライト

令和4年度スポーツ推進委員会自主事業 「ニュースポーツ研修」 ひたちなか市スポーツ推進委員会委員長 小池 英夫

昨年10月にひたちなか市スポーツ推進委員会主催の「ニュースポーツ研修」を「スポーツ&カルチャーしおかせみなど」にて開催いたしました。

この事業は、ニュースポーツの推進を目的としたもので、スポーツ推進委員及び地域スポーツ指導員がともにルールや指導方法を学び、地域に広めていければという考えから企画されました。

総勢65名が研修に参加し、ラダーゲッター、ユニカール、ニチレクボールの3競技を実際に体験してスコアの付け方やボールの投げ方等を互いに確認しながらスキルアップを図っていました。

今後も事業を継続し、スポーツの魅力や楽しさが地域に広まっていけるような研修を企画していきたいと考えております。

【ラダーゲッター】
ラダー(ハシゴ)に向かって紐で繋がった2個のボールを投げ、



ラダーゲッター



研修会参加者の皆さん

【ニチレクボール(室内ペンク)】
離れた場所から標的の球と呼ばれる的に向かって2チームがボールを投げ合い、どちらがより近くまで寄せられるかを競う。



ユニカール

引つけた個数で得点を競う。引つかなかった場所によって得点が異なる。
【ユニカール】
氷上スポーツのカーリングが屋内でも簡単にできるよう考案されたスウェーデン発祥のニュースポーツ。

スポーツで躍動したひたちなかの若人たち!!

今年も様々な競技のスポーツ大会が各地で行われました。スポーツマンシップにのっとり各選手が正々堂々と熱い試合をくりひろげ素晴らしい結果を残しました。その中で、本市に住所を有する選手、又は在学する選手を対象に、全国や関東の舞台で活躍したひたちなか市の若人たちをご紹介します!



今後の目標 ぼくの今後の目標は、今年から中学生になるので中学3年間で中学ボウリング全国大会で優勝をする事です。そして全日本のメンバーに選ばれることを目標としています。

高橋 望 選手

競技 ボウリング
学校名 中根小(6年)
出場大会 第12回全日本小学生ボウリング競技大会 準優勝
及び成績



今後の目標 今後の目標は全日本ナショナルチームメンバーに入って、世界で活躍できる選手になることです。目標を達成するために日々の練習に励んでいきたいと思っています。

井崎 寛菜 選手

競技 ボウリング
学校名 日立第二高等学校(2年)
出場大会 栃木国体・第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体) 少年女子の部 個人戦3位 団体戦4位
及び成績



今後の目標 今年7月の第18回オールジャパンジュニア大会でラテンの部・スタンダードの部共に優勝を目指して、ペアを組むリーダーと一緒に練習をがんばりたいです。

松田 凜空 選手

競技 ダンススポーツ
学校名 田彦小(4年)
出場大会 第17回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ2022in東京 小学4年生以下の部サルサ 優勝 小学4年生以下の部メレンゲ 第2位
及び成績



今後の目標 遠距離カップルのため、練習量が少ないにも関わらず準優勝できて嬉しかったです。これからは、この結果を塗り替えられるジュニア選手になりたいです。

加藤 向葵 選手

競技 ダンススポーツ
学校名 東石川小(5年)
出場大会 第17回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ2022in東京 ジュブナイルスタンダードの部 準優勝 小学生ソロパートナーステップの部 スタンダード第3位
及び成績



今後の目標 今までと同じように、これから多くの壁にぶつかるでしょうがそれでも乗り越えようと努力し続けることを大切に、仲間と共に精進していきたいです。

斉藤 愛心 選手

競技 ダンススポーツ
学校名 茨城大学教育学部 附属中学校(2年)
出場大会 第17回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ2022in東京 中学生ソロリーダーステップの部サンバ 第3位 女子中学生スタンダードの部 第2位 女子中学生ラテンの部 優勝
及び成績



今後の目標 今後の目標は今年、中学生最後の大会なので、努力して今の自分と向き合い突き進んでいきたいです。そして自分のダンスを見ている皆さんを笑顔にできるような選手になりたいです。

打越 心優 選手

競技 ダンススポーツ
学校名 勝田第三中学校(2年)
出場大会 第17回オールジャパンジュニアダンススポーツカップ2022in東京 中学生ソロリーダーステップの部サンバ 第2位 女子中学生スタンダードの部 第2位 女子中学生ラテンの部 優勝
及び成績



今後の目標 昨年度に引き続き茨城県代表として、全国の舞台で演武できました。ご指導いただいた先生方への感謝の心を忘れず、後輩たちの良き見本となるよう努力していきたいです。

津田空手道スポーツ少年団 勝田第二中学校

競技 空手道 女子団体形
(写真左から) 山下みのり(やましたみのり)(2年)
伊藤 愛里(いとう あいり)(3年)
小船 舞依(こふね まい)(3年)
出場大会 第30回全国中学生空手道選手権大会 出場
及び成績



今後の目標 ペアを組んで1年ですがコーチ達の熱心な指導のお陰で関東大会に出場できました。今年は小学生最後の年なので、さらには目指しプレーに磨きをかけて頑張ります!

靄田 颯人選手 坂本 智選手

競技 バドミントン 5年生男子ダブルス
学校名 勝倉小(5年)(写真右 靄田選手)
東石川小(5年)(写真左 坂本選手)
出場大会 第31回全国小学生バドミントン選手権大会茨城県予選会 5年生男子ダブルス 3位・関東大会出場
及び成績

編集後記

ひたちなか市の冬の風物詩「三浜駅伝競走大会」と「勝田全国マラソン」が3年ぶりに開催されました。コロナ禍で2年間中止、延期となっていたので、選手、ボランティアの皆さんも大会に参加できたことを喜ばれたでしょう。大会が開催できたのは、早い時期から運営に携わった方々が中断された隙間を埋めるべく、関係先と調整、検討された賜物です。

両大会が様々なハードルをクリアして開催できたことを喜ぶとともに、今回の大会で結実した英知を未来に繋げるべく、皆さまと一緒に振り返りもして参りましょう。

(磯野好久記)

【広報委員】

- 高場 恵子 磯野 好久
- 増 潤 誠 磯崎 洋二
- 益子 勝徳 磯貝 嘉伸
- 小池 俊昭 清水 敏治
- 小池 英夫 齋藤 純子
- 助川 保彦 順 不同

